

『第7回伊賀市非核平和推進中学生広島派遣事業』



伊賀市では、8月5日から2日間、市内中学生の代表11人を広島市に派遣しました。参加した生徒は、市内の中学生一人ひとりが心をこめて折った千羽鶴を原爆の子の像に捧げ、平和記念式典への参加や平和記念資料館の見学を通じて、世界平和への思いを新たにしました。

福島第一原子力発電所事故により、「核」に対する関心が例年以上に集まる中、核兵器のない平和な社会の実現に向けて、私たち一人ひとりにできることを考えるよい機会となりました。

参加した生徒のレポートからヒロシマの様子をお伝えします。

広島派遣：平成23年8月5日(金)、6日(土)

■行程

- 5日 ～ 被爆体験講話聴き取り
原爆の子の像へ千羽鶴捧げ
平和記念公園見学
広島平和記念資料館見学

- 6日 ～ 広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式(平和記念式典)参加
平和演劇鑑賞

【被爆体験講話聴き取り】



被爆体験講話で語り部をしてくれたのは森田節子さんです。爆心地にはたくさんの死体が道端にあったそうです。僕は思いました。なぜ、戦争をするのか、得るものはなにもない。失うのは、たくさんのかげがえのない尊い命です。

崇広中学校 福持光咲九さん



森田さんの話を聞いて大きく二つの事を感じました。一つは自分が重傷であっても、ほかの人を助けるという勇気です。もう一つは、やはり原爆の恐ろしさです。二度とこのような事を起こしてはいけないと思いました。

柘植中学校 中嶋彩乃さん

【原爆ドーム】



原爆の威力は思った以上に強力で、それは原爆ドームを生で見ないとわからないことでした。折れ曲がった鉄骨や崩れ落ちたれんがなど、写真からは感じられない恐怖があり、原爆の怖さをあらためて思い知りました。

緑ヶ丘中学校 辻勝仁さん

2度目の原爆ドーム。やはり、原爆の恐ろしさが一番伝わってくる建物だと思いました。今、ここに原爆ドームがあることで、原爆を決して使ってはならないし、平和の大切さをもっと知ってもらいたいと思いました。

霊峰中学校 森田真帆さん

【原爆の子の像】



原爆の子の像の前に千羽鶴を捧げました。千羽鶴は、捧げる場所がほとんどありませんでした。僕は、それを見て世界中に平和を願う人がたくさんいることを知り、やはり戦争はなくさなければならぬと思いました。

丸山中学校 福森皓平さん

今でも、世界中の人たちが平和を願い、色鮮やかな折り鶴を捧げています。被爆した人たちと平和な世界を生きる私たちが一つになったようでした。この思いを、今も核をもつ国々の人に知ってもらいたいと思いました。

島ヶ原中学校 川向志季さん

【広島平和記念資料館】



平和記念資料館には8月6日のことや核爆弾についてたくさん展示してありました。その中でも投下された当日の町や人々の様子を見た時は、大変衝撃を受けました。この体験を忘れず、少しでも多くの人に伝えていきたいです。

成和中学校 垣内博貴さん



平和記念資料館には、被爆遺留品など数多くの展示があり、目を覆いたくなるほどの衝撃を受けました。戦争の悲惨さや恐ろしさをあらためて認識し、「平和の大切さや命の尊さ」をしっかりと発信していかなければいけないと痛感しました。

阿山中学校 川上志保さん

【平和記念式典】



僕は実際、記念式典に参加をして、世界中の多くの人々が平和を願っていると感じました。まだ、核実験や戦争などは続いているので、少しでも早く、平和な地球を世界中の人々とともに、築いていきたいと思います。

城東中学校 福山智収さん



私は式典に参加してたくさんの方が平和を願っているということを感じました。今年は、地震の影響で再び放射能による被害があり、怖いものだと知りました。だから早く復興して東北にも平和がおとずれてほしいです。

大山田中学校 伊藤風香さん



式典には沢山の外国人が参加していて、あらためて原爆は国際的な問題なんだと感じました。「夢と希望があふれる未来をつくるために行動していく」という誓いから、具体的に何ができるのかを考えて、実行していきたいです。

青山中学校 久木崎つかささん